

# 東京都地球温暖化対策計画書制度

## 推計実績削減量計算書

＝ 記入要領 ＝

東京都環境局

平成21年5月

## はじめに

本記入要領は、中間報告書や結果報告書に添付する削減対策の推計実績削減量の根拠資料として利用できる推計実績削減量計算書の記入方法を解説しています。この推計実績削減量計算書は、都のホームページからダウンロードできますので、ご活用ください。

また、主な目標対策の推計実績削減量計算書の記入例を都のホームページ等で提供していますので、参考にしてください。なお、記入例は計算方法の一例を示したものです。推計実績削減量計算書の作成に当たっては、テクニカルアドバイザーやビジネス事業者などの専門的な知見を持つ技術者が関与し、可能な限り合理的・客観的に削減効果の計測・検証を行ってください。

## 目次

1	EXCELファイルの機能（EXCELの使い方・注意点）	1
2	様式及び記入例	4
	推計実績削減量計算書（根拠資料）	4
	推計実績削減量計算書（詳細根拠資料）	6
3	補足資料	8
	対策区分番号一覧（産業、業務）	8

# 1 EXCELファイルの機能（EXCELの使い方・注意点）

EXCELファイルへの入力は、次に示す手順や注意事項に留意して行ってください。

## (1) EXCELファイルのダウンロード

計算書EXCELファイルは、手元のパソコンにダウンロードし保存してからファイルを開き、入力作業を行ってください。

## (2) EXCELへの入力①

推計実績削減量計算書はファイルに保護をかけていませんが、計算書フォームに関する変更や削除は行わないでください。

事業所において記入していただく項目には、セルを黄色の表示にしています。

## (3) EXCELへの入力②

一部のセルは、自動計算や引用の数式が入力されています。以下の2カ所（赤点線で囲んだ部分）については、数式を消去しないよう注意してください。

推計実績削減量計算書(根拠資料)															
ID	111111	事業所名	Aビル	対策の名称		第1年度		第2年度	完了	第3年度		第4年度		第5年度	
対策分類番号	120502 <th>対策完了年月日</th> <td>平成〇年〇月</td> <th>スケジュール</th> <td></td> <th>大分類</th> <td>12</td> <th>中分類</th> <td>05</td> <th>小分類</th> <td>02</td> <th colspan="3">可変流量制御方式</th>	対策完了年月日	平成〇年〇月	スケジュール		大分類	12	中分類	05	小分類	02	可変流量制御方式			
I 削減対策の概要説明															
<対策実施前の状況(問題点)>					<対策の概要(改善ポイント)>					① 対策分類の自動入力					
II 対策効果における算定条件・推計の考え方等(削減量の根拠)															
計画時(対策実施前)の状況					対策実施後の状況										

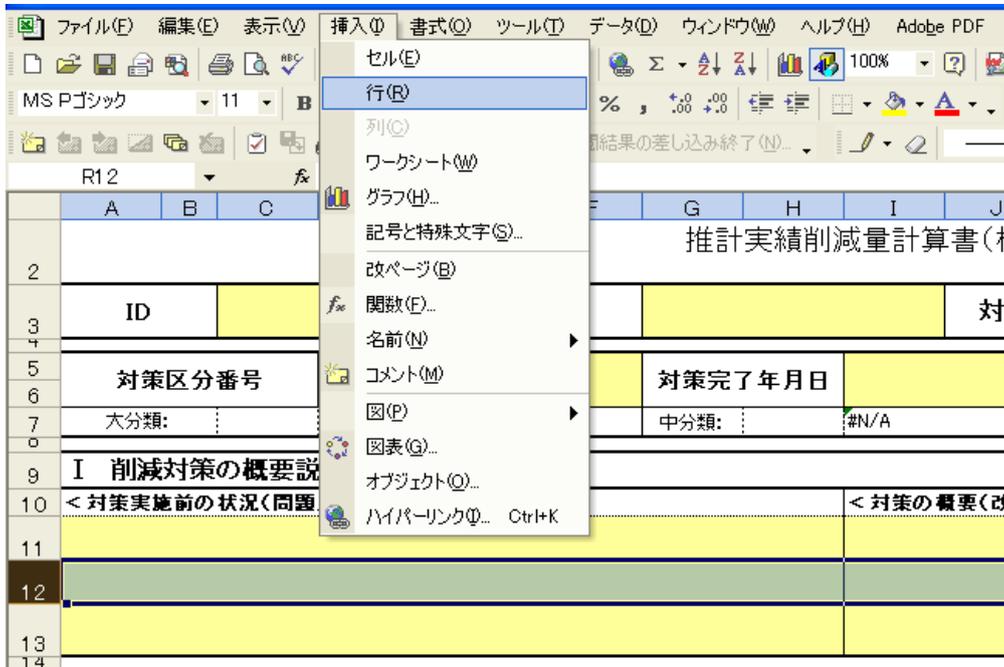
② 温室効果ガス削減量への自動換算									
III 対策効果(対策前後の差)									
削減効果	エネルギーの種類	削減量(A-B)	エネルギーの種類	削減量(A-B)	エネルギーの種類	削減量(A-B)	温室効果ガス削減量(CO2換算)		
	電気(全日)	kWh	灯油	L	蒸気	GJ	0.0	tCO2	%
	電気(昼間)	kWh	A重油	L	温水	GJ			
	電気(夜間)	kWh	軽油	L	冷水	GJ			
	ガス(13A)	m3	上水	m3	その他				
LPG	kg	下水	m3	その他					
工場・事業場の設備等に係る温室効果ガスの基準排出量				2,850	tCO2 <th colspan="2">削減率</th> <td>0.0</td> <td>%</td>	削減率		0.0	%
IV 対策実施に係る投資額(参考)									
名称	内訳	数量	(単位)	複合単価(円)	工事金額(円)				

#### (4) EXCEL への入力③

セルの書式変更、行・列幅の変更など、EXCELの一般的な機能を利用することは可能です。

ただし、計算書フォームに設定した自動計算や引用の数式に不具合が出る可能性がありますので、行の削除、列の挿入・削除及びセルの削除については行わないでください。

※ 行の挿入は、問題ありません。



#### (5) セル内の改行

「Alt」キーを押しながら「Enter」キーを押すと、セル内できれいに改行できます。

#### (6) セルの書式変更

セルの書式変更を行うと、表などが見やすくなります。印刷すると文字が表示されない場合（「####」となる）などはセルの書式変更により、「縮小して全体を表示する」、「セルを結合する」を実行することにより改善されます。

書式変更を行いたいセルを選択して、右クリック→「セルの書式設定」を選択すると以下のボックスがでるので、「表示形式」、「配置」、「フォント」、「罫線」、「パターン」、「保護」等を使用して見やすい計算書を作成してください。



(7) 単位発熱量、排出係数

単位発熱量及び排出係数は、下記に示す表のとおり設定しています。

都市ガス13Aの単位発熱量については45GJ/千m<sup>3</sup>を設定していますが、対策実施前・後のエネルギー使用量の算出に当たって46GJ/千m<sup>3</sup>に変更が必要な場合は、計算書フォームの印刷範囲外部分（D行、204列）を修正してください。都市ガス13Aの単位発熱量以外の値については変更できませんので注意してください。

（※東京ガスによると、都内の都市ガスの熱量換算係数は平成18年2月20日以前は46GJ/千m<sup>3</sup>、平成18年2月21日以降の熱量は45GJ/千m<sup>3</sup>です。）

また、「Ⅲ 対策効果（対策前後の差）」欄に示すエネルギーの種類で対応できないとき、その他を消して新たに設定することができます。この場合、温室効果ガス削減量を自動計算する数式を修正してください。

単位発熱量	
電気：全日	-
電気：昼間	-
電気：夜間	-
ガス13A	45.00 GJ/千m <sup>3</sup>
LPG	50.2 GJ/t
灯油	36.7 GJ/kL
A重油	39.1 GJ/kL
軽油	38.2 GJ/kL
蒸気	-
温水	-
冷水	-
上水道	-
下水道	-

排出係数	
電気：全日	0.386 tCO <sub>2</sub> /千kWh
電気：昼間	0.403 tCO <sub>2</sub> /千kWh
電気：夜間	0.354 tCO <sub>2</sub> /千kWh
ガス13A	0.0513 tCO <sub>2</sub> /GJ
LPG	0.0598 tCO <sub>2</sub> /GJ
灯油	0.0679 tCO <sub>2</sub> /GJ
A重油	0.0693 tCO <sub>2</sub> /GJ
軽油	0.0687 tCO <sub>2</sub> /GJ
蒸気	0.067 tCO <sub>2</sub> /GJ
温水	0.067 tCO <sub>2</sub> /GJ
冷水	0.067 tCO <sub>2</sub> /GJ
上水道	0.000190 tCO <sub>2</sub> /m <sup>3</sup>
下水道	0.000511 tCO <sub>2</sub> /m <sup>3</sup>

2 様式及び記入例

推計実績削減量計算書(根拠資料)

ID	111111	事業所名	A病院	対策の名称	高効率変圧器への	a		
対策区分番号	150103	対策完了年月日	平成〇年〇月	スケジュール	第1年度: 第2年度: 第3年度	b		
大分類	15	受変電設備、照明設備、電気設備	中分類	01	受変電設備の管理	小分類	03	変圧器容量

<b>I 削減対策の概要説明</b>	
<対策実施前の状況(問題点)>	<対策の概要(改善ポイント)>
変電設備に油入変圧器(500kVA×2台)を使用しており、導入から30年経過し、老朽化していた。	最新型の高効率変圧器(500kVA×2台)に更新することにより、変圧器損失を低減した。

<b>II 対策効果における算定条件・推計の考え方等(削減量の根拠)</b>		
	計画時(対策実施前)の状況	対策実施後の状況
	根拠	根拠
①導入設備の出力・効率、削減率等	① 無負荷損 2.040kW ①' 負荷損 6.800kW 別紙(A社変圧器)より	① 無負荷損 0.601kW ①' 負荷損 4.380kW 別紙(A
②対策実施の規模(計算対象の範囲)	油入変圧器 500kVA 2台	高効率変圧器 500kVA 2台
③事業活動の状況1(年間稼働時間、生産量等)	③ 通電時間 8760h 24h/日×365日/年 ③' 稼働時間 3650h 10h/日×365日/年(運転時間)	※計画時の状況と同じ条件で計算すること
④事業活動の状況2(設備負荷の状況等)	0.6 平均負荷電流/定格電流	
⑤その他(安全率等)	特になし	特になし

<b>A 対策実施前のエネルギー使用量</b>								
機器番号	系統	②台数	①無負荷損 kW	①' 負荷損 kW	④負荷率 %	③通電時間 h/y	③' 稼働時間 h/y	消費動力 kWh/y
	油入変圧器(500kVA)	2	2.04	6.80	60%	8,760	3,650	53,611
計								53,611
計算式 消費動力=(①無負荷損×③通電時間+①' 負荷損×④負荷率 <sup>2</sup> ×③' 稼働時間)×②台数								

<b>B 対策実施後のエネルギー使用量</b>								
機器番号	系統	②台数	①無負荷損 kW	①' 負荷損 kW	④負荷率 %	③通電時間 h/y	③' 稼働時間 h/y	消費動力 kWh/y
	高効率変圧器(500kVA)	2	0.601	4.380	60%	8,760	3,650	22,040
計								22,040
計算式 消費動力=(①無負荷損×③通電時間+①' 負荷損×④負荷率 <sup>2</sup> ×③' 稼働時間)×②台数								

<b>III 対策効果(対策前後の差)</b>							
削減効果	エネルギーの種類	削減量(A-B)	エネルギーの種類	削減量(A-B)	エネルギーの種類	削減量(A-B)	温室効果ガス削減量(CO2換算)
	電気(全日)	31,571 kWh	灯油	L	蒸気	GJ	
	電気(昼間)	kWh	A重油	L	温水	GJ	
	電気(夜間)	kWh	軽油	L	冷水	GJ	
	ガス(13A)	m3	上水	m3	その他		
LPG	kg	下水	m3	その他		12.2 tCO2	
工場・事業場の設備等に係る温室効果ガスの基準排出量				2,850 tCO2	削減率	0.4 %	j

<b>IV 対策実施に係る投資額(参考)</b>				
工事に係る項目(部品費、人件費等)	内訳	数量 (単位)	単価、複合単価(円)	金額(円)
高効率変圧器	500kVA	2台	3,000,000	6,000,000円
投資額の合計				6,000,000円

<b>V 単純回収年(参考)</b>			
エネルギーの種類	削減量 (単位)	単価 (単位)	金額(円)
電力	31,571 kWh/年	15 円/kWh	473,566円
ガス	m3/年	円/m3	円
その他			円
エネルギー費年間削減額の合計			473,566円
単純回収年			12.7 年

推計実績削減量計算書(詳細根拠資料)

ID	111111	事業所名	A病院	対策の名称	高効率変圧器への更新
----	--------	------	-----	-------	------------

VI 削減対策の詳細根拠

種別	一次電圧	二次電圧	容量 KVA	30年程度経過した 油入変圧器(参考値) ※		トップランナー 油入変圧器	
				標準仕様変圧器 (第1種)		標準仕様変圧器 (第1種)	
				無負荷損	負荷損	無負荷損	負荷損
単相	6.6KV	105/210V	10			33	181
			20			55	355
			30			67	434
			50	150	730	98	751
			75	360	1,105	137	900
			100	430	1,475	164	1,210
			150	540	2,005	204	1,690
			200	620	2,700	235	2,160
			300	1,260	3,690	340	2,690
			500	1,820	6,350	506	3,670
三相	6.6KV	210V	20			75	414
			30			106	569
			50	265	845	136	912
			75	550	1,270	188	1,090
			100	625	1,685	219	1,420
			150	600	2,330	277	1,950
			200	1,135	3,130	335	2,360
			300	1,385	4,485	413	3,270
			500	2,040	6,800	601	4,380
			750			916	6,020
		1,000			1,240	7,580	
		1,500			1,460	11,800	
		2,000			1,670	15,700	
					1,280	12,500	
					1,930	14,700	
	420V						

※メーカーによる参考値

m

**a：ID、事業所名、対策の名称**

ID、事業所名、対策の名称には、中間報告書または結果報告書と同じ内容を記入してください。

**b：対策区分番号、対策完了年月日、スケジュール**

対策区分番号には、計画書(その5)の数字を記入してください。新たに追加する対策については、8ページから12ページの対策区分番号一覧を参照して削減対策が該当する6桁の数字を記入してください。区分番号の記入に当たっては、番号の頭にシングルコーテーション「'」（「shift」+「7」）を記入してください。例：「'120502」。表示は「120502」となり分類項目が自動記入されます。対策完了年度、スケジュールには、中間報告書または結果報告書と同じ内容を記入してください。

**c：I 削減対策の概要説明**

対策実施前の状況については、既存設備の状態、運転・制御方法等を踏まえて、対策実施前の問題点を簡潔に説明してください。対策実施後の状況については、導入設備、改善後の運転制御方法等を説明し、対策実施前の問題点をどのように解決したのかを記入してください。

**d：①導入設備の出力・効率、削減率等**

導入設備の出力・効率(定格値、測定値等)、削減率等を記入してください。「根拠」には該当するものをプルダウンから選んでください。対策実施後について、実際に導入した設備の効率・定格等が計画時と異なる場合は実際に導入した効率・定格等を記入してください。なお、左記のように削減率を記載している場合、削減率の算出方法を「削減対策の詳細根拠」欄で説明してください。

**e：②対策実施の規模（計算対象の範囲）**

対策実施の前後について、対策を実施した範囲(設備(群)・機器、台数、容量など)を記入してください。計画した範囲と実施した範囲が異なる場合は、実際に実施した範囲を記入してください。

**f：③事業活動の状況1（年間稼働時間、生産量等） ④事業活動の状況2（設備負荷の状況等）**

事業活動の状況1には、対策実施前の稼働時間、生産量等を記入してください。事業活動の状況2には、対策実施前の設備への負荷(需要側での要求、基本的に何%の運転となっているか)を記入してください。対策実施後は、事業活動の変動要因を排除するため、対策実施前(計画時)の状況と同じ条件とします。記入は不要です。なお、計画書提出時に詳細に把握していなかった場合、実施に当たって把握した値を使用してください。

**g：④その他（安全率等）**

理論値・推計値などから技術計算により求めた値が実際の対策効果より過大になる場合、計算式に安全率を設定し補正してください。また、対策効果の算出に当たり、考慮した点、注意した点など補記することがあれば、必要に応じて記入してください。

**h：A 対策実施前のエネルギー使用量**

対策実施前のエネルギー使用量を算出した計算方法を記入してください。

上記の対策実施前の①導入設備の出力・効率、削減率等、②対策実施の規模(計算対象の範囲)、③事業活動の状況1(年間稼働時間、生産量等)、④事業活動の状況2(設備負荷の状況等)、⑤その他(安全率等)を使用して計算してください。

**i：B 対策実施後のエネルギー使用量**

対策実施後のエネルギー使用量を算出した計算方法を記入してください。

上記の対策実施後の①導入設備の出力・効率、削減率等、②対策実施の規模(計算対象の範囲)、③事業活動の状況1(年間稼働時間、生産量等)、④事業活動の状況2(設備負荷の状況等)、⑤その他(安全率等)を使用して計算してください。

**j：Ⅲ 対策効果（対策前後の差）**

「A 対策実施前のエネルギー使用量」-「B 対策実施後のエネルギー使用量」から、対策実施前後のエネルギー消費量の差分(対策効果)を算出してください。温室効果ガス削減量(CO2換算)は、自動計算されます。

「工場・事業場の設備等に係る温室効果ガスの基準排出量」欄に貴事業所の基準排出量を記入してください。(計画書「その4 上段 イ 欄」)基準排出量を記入すると、削減率が自動計算されます。

**k：Ⅳ 対策実施に係る投資額（参考）**

投資対効果(単純回収年)を確認するため、可能な限り当該削減対策の投資額を記入してください。

**l：Ⅴ 単純回収年（参考）**

投資対効果を確認するため、可能な限り当該削減対策によるエネルギー費年間削減額を記入してください。エネルギー単価等を記入すれば、投資回収年数が自動計算されます。

※ 設備の老朽化に伴う更新時には、標準的な機器と高効率機器の投資額の差から費用対効果を算出し、計画化の検討を行うことが望ましい。

### m：VI 削減対策の詳細根拠

II 対策効果における算定条件・推計の考え方等(削減量の根拠)に関する根拠の詳細説明や補足事項などを記入してください。また、メーカーカタログ、メーカー資料などで代替できるときは、別紙に添付してください。記入例を参考に、下記のような事項を記入してください。

(例)

- 実施した対策内容の図示(制御図など)
- 1枚目に記入しきれなかった詳細な計算方法
- 「①導入設備の出力・効率、削減率等」に関する測定データ
- カタログ、パンフレットの抜粋
- 対策実施前後の写真

# 補 足 資 料

## 対策区分番号一覧

### ■業務

対策番号	大項目番号	大項目名称	中項目番号	中項目名称	細項目番号	細項目名称
110101	11	一般管理事項	01	推進体制の整備	01	推進体制の整備
110102					02	人材育成及び省エネルギー教育
110103					03	管理台帳の整備
110104					04	目標設定、実行計画の策定
110105					05	PDCAサイクルの管理
110201			02	主要設備等の保全管理	01	日常点検・定期点検
110202					02	保全計画、管理
110203					03	機器性能管理
110204					04	システム性能管理(GOP)
110205					05	図書管理
110301			03	計測・記録の管理	01	計測器の設置、運用
110302					02	定期的な計測、記録
110303					03	計測、制御システムの性能管理
110304					04	各種データ管理
110401			04	エネルギー使用量の管理	01	エネルギーフローの管理
110402					02	日使用量、日負荷変動
110403					03	月使用量、月負荷変動
110404					04	エネルギー消費原単位の算出
110405					05	用途・消費先別原単位
120101	12	熱源設備、熱搬送設備	01	燃焼設備の管理	01	空気比の管理
120102					02	燃焼の管理
120201			02	冷凍機の効率管理	01	成績係数(GOP)
120202					02	冷温水出口温度設定
120203					03	冷却水温度設定
120204					04	熱交換機のスケール除去
120301			03	運転管理及び効率管理	01	熱源機器の台数制御
120302					02	給水水質、ブロー管理
120303					03	ウォーミングアップの運転管理
120401			04	補機の運転管理	01	冷却性能の管理
120402					02	冷却塔の水質管理
120501			05	熱搬送設備の運転管理	01	流量、圧力管理
120502					02	可変流量制御方式
120601			06	廃熱回収の管理	01	廃熱利用管理
120701			07	蒸気の漏えい及び保温の管理	01	配管系統
120702					02	負荷設備(蒸気バルブの保温)
120801	08	熱蓄槽の管理	01	蓄熱効率の管理		
130101	13	空気調和設備、換気設備	01	空気調和の管理	01	設定温度、湿度の適正化
130102					02	外気導入量の制御
130103					03	空調区間の管理
130104					04	ウォーミングアップ運転時の外気遮断
130105					05	運転時間、ファン動力の軽減対策
130106					06	可変風量制御方式(VAV方式)
130201			02	空気調和設備の効率管理	01	外気冷房(外気利用)
130202					02	混合損失の防止

対策番号	大項目番号	大項目名称	中項目番号	中項目名称	細項目番号	細項目名称
130301	13	空気調和設備、換気設備	03	換気設備の運転管理	01	換気回数の適正化
130302					02	換気運転の管理
130303					03	局所換気
130304					04	駐車場換気運転制御
140101	14	給湯設備、給排水設備、冷凍冷蔵設備、ちゅう房設備	01	給湯設備の管理	01	給湯温度設定
140102					02	給湯効率改善(スケール除去)
140103					03	スケジュール管理
140104					04	補給水の予熱管理
140201			02	給排水設備の管理	01	中水(雨水、井水)の利用
140202					02	給水流量、圧力
140203					03	節水コマ、節水シャワーヘッド
140204					04	擬音装置
140301			03	冷凍冷蔵設備及びちゅう房設備の管理	01	保温管理
140302					02	扉の開閉管理
140303					03	ショーケースの管理
140304					04	着霜制御
150101	15	受変電設備、照明設備、電気設備	01	受変電設備の管理	01	電気負荷状況
150102					02	発電状況
150103					03	変圧器容量
150104					04	需要率、負荷調整
150105					05	デマンド管理
150106					06	力率管理
150201			02	照明設備の運用管理	01	照明器具及びランプの適正な選択
150202					02	自動調光による減光、消灯
150203					03	局部照明
150204					04	適性照度の管理
150205					05	センサー、スイッチの細分化
150301			03	事務用機器等の管理	01	待機消費電力の削減
150302	02	自動販売機のスケジュール管理				
160101	16	昇降機、建物	01	昇降機の運転管理	01	台数制御
160102					02	スケジュール管理
160103					03	改善整備
160201			02	建物の省エネルギー	01	構造体の断熱性管理
160202					02	窓の断熱性、機密性
160203	03	外気侵入遮断				
170101	17	負荷平準化	01	負荷平準化対策	01	負荷平準化対策
170201			02	コージェネレーション	01	コージェネレーションの運転管理
170301			03	新エネルギー	01	燃料電池運転管理
170302					02	太陽熱利用
170303					03	太陽光発電管理
170304					04	風力発電管理

■産業

対策番号	大項目番号	大項目名称	中項目番号	中項目名称	細項目番号	細項目名称		
310100	31	一般管理事項	01	推進体制の整備	00	推進体制の整備		
310200			02	主要設備等の保安全管理	00	主要設備等の保安全管理		
310300			03	計測及び記録の管理	00	計測及び記録の管理		
310400			04	エネルギー使用量の管理	00	エネルギー使用量の管理		
310500			05	生産工程のエネルギー管理	00	生産工程のエネルギー管理		
320101	32	ボイラー、工業炉、蒸気系統、熱交換器等	01	燃料の燃焼の合理化に関する措置	01	空気比の管理		
320102					02	燃焼設備の効率管理		
320103					03	燃料の管理		
320104					04	燃焼設備の保安全管理		
320201			02	加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置		01	熱媒体等の温度、圧力及び量の管理	
320202						02	加熱、熱処理等工業炉の効率管理	
320203						03	加熱等設備の負荷管理	
320204						04	加熱等設備の効率管理	
320205						05	ボイラーの負荷管理及び効率管理	
320206						06	加熱工程のスケジュール管理	
320207						07	ボイラーの給水及びブロー管理	
320208						08	蒸気供給の管理	
320209						09	蒸気乾き度の管理	
320210						10	加熱等を行う設備の保安全管理	
320211						11	その他の加熱等に係る管理	
320301			03	放射、伝熱等による熱の損失の防止に関する措置		01	熱利用設備に係る断熱の保安全管理	
320302						02	スチームトラップの保安全管理	
320303						03	熱媒体等の漏えいに係る保安全管理	
320351						51	蒸気配管系の断熱強化	
320401			04	廃熱の回収利用に関する措置		01	排ガスの廃熱回収の管理	
320402						02	蒸気ドレンの廃熱回収の管理	
320403						03	排ガス及び蒸気ドレン以外の廃熱等回収の管理	
320404						04	廃熱回収設備の保安全管理	
320451						51	蒸気ドレンの回収利用	
329999					99	ボイラー、工業炉、蒸気系統、熱交換器等に係るその他	99	ボイラー、工業炉、蒸気系統、熱交換器等に係るその他の削減対策
330201			33	空気調和設備、換気設備	02	加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	01	空気調和の管理
330202							02	空気調和設備の効率管理
330203							03	クリーンルームの空気調和管理
330204							04	冷凍機の効率管理
330205	05	冷却水の管理						
330206	06	ブラインド、カーテン等の管理						
330207	07	換気設備の運転管理						
330208	08	空気調和設備の保安全管理						
330209	09	空気調和設備の自動制御装置の保安全管理						
330251	51	熱搬送ポンプ等における最適流量調整のための装置等の導入						
330252	52	空気調和施設における最適風量調整のための装置等の導入						
330299	99	空気調和設備、換気設備に係るその他の削減対策						

対策番号	大項目番号	大項目名称	中項目番号	中項目名称	細項目番号	細項目名称
340501	34	発電専用設備、コージェネレーション設備	05	熱の動力等への変換の合理化に関する措置	01	発電専用設備の効率管理
340502					02	発電専用設備の保全管理
340503					03	コージェネレーション設備の効率管理
340504					04	コージェネレーション設備の保全管理
340599					99	発電専用設備、コージェネレーション設備に係るその他の削減
350601	35	受変電設備、配電設備	06	抵抗等による電気の損失の防止に関する措置	01	変圧器の需要率管理
350602					02	受電端力率の管理
350603					03	単相負荷の管理
350604					04	負荷率の管理
350605					05	受変電設備及び配電設備の保全管理
350606					06	その他の電気使用設備に係る管理
350651					51	変圧器の負荷の統合
350699					99	受変電設備、配電設備に係るその他の削減対策
360701					36	ポンプ、ファン、ブロワー、コンプレッサー等
360702	02	ファン及びブロワーの運転管理				
360703	03	コンプレッサーの運転管理				
360704	04	コンプレッサーの吸気管理				
360705	05	ポンプ、ファン、ブロワー、コンプレッサーの保全管理				
360751	51	コンプレッサー運転台数の自動制御装置等の導入				
360752	52	コンプレッサー吸気温度上昇の抑制				
360799	99	ポンプ、ファン、ブロワー、コンプレッサー等に係るその他の削減				
370701	37	電動力応用設備、電気加熱設備等	07	電気の動力、熱等への変換の合理化に関する措置		
370702					02	電動機の運転管理
370703					03	誘導炉等の装てん方法管理
370704					04	誘導炉等の効率管理
370705					05	電解設備の電解効率管理
370706					06	電動力応用設備の保全管理
370707					07	電気加熱設備及び電解設備の保全管理
370708					08	誘導炉等の断熱に係る保全管理
370709					09	その他の電気の使用に係る管理
370799					99	電動力応用設備、電気加熱設備等に係るその他の削減対策
380701					38	照明設備
380702	02	照明設備の保全管理				
380751	51	電子回路式安定器及び高周波点灯方式の蛍光灯等の導入				
380752	52	高輝度放電ランプ等効率の高いランプの導入				
380799	99	照明設備に係るその他の削減対策				
390701	39	昇降機	07	電気の動力、熱等への変換の合理化に関する措置		
390702					02	昇降機の保全管理
390799					99	昇降機に係るその他の削減対策
400201	40	給湯設備	02	加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	01	給湯設備の効率管理
400202					02	給湯設備の保全管理
400299					99	給湯設備に係るその他の削減対策

対策番号	大項目番号	大項目名称	中項目番号	中項目名称	細項目番号	細項目名称
410701	41	事務用機器	07	電気の動力、熱等への変換の合理化に関する措置	01	事務所機器の管理
410702					02	事務所用機器の保全管理
410799					99	事務用機器に係るその他の削減対策
499999	49	その他	99	その他の削減対策	99	その他の削減対策

(問い合わせ先)

東京都環境局 都市地球環境部 総量削減課 事業活動係  
〒163-8001 新宿区西新宿2-8-1 第二本庁舎8階  
TEL(直通):03-5388-3597  
TEL(代表):03-5321-1111 (内)42-741  
FAX:03-5388-1380  
代表E-Mail ondanka@kankyo.metro.tokyo.jp

- ※ 以下のホームページに、推計実績削減量計算書のEXCELファイル、主な目標対策の推計実績削減量計算書の記入例等の登録サイトがあります。  
こちらから推計実績削減量計算書EXCELファイルをダウンロードしてください。

東京都環境局のホームページ  
<http://www.kankyo.metro.tokyo.jp/>

地球温暖化対策計画書制度のホームページ  
<http://www2.kankyo.metro.tokyo.jp/ondanka/index.html>